

# 取扱説明書

## ガーディアングラビティ

### 重要

取扱説明書全体をよく読み理解した上で浄水器の組み立てを行ってください。本取扱説明書は、いつでも参照できるよう大切に保管してください。本取扱説明書の説明でご不明な点などがある場合は、株式会社モチツキ(0256-32-0819)までご連絡ください。

### 警告

#### 生物災害

バックカントリーや海外を旅する際に行う過、浄水器の使用には危険を伴う場合があります。浄水されていない水を飲んだ場合、有害な微生物を摂取することになり、消化器中毒を起こす恐れがあります。本製品が不適切に使用された場合、有害な微生物を摂取することになり、消化器中毒を起こす恐れがあります。本取扱説明書に記載される警告や指示に従い、病気になる危険性を可能な限り抑えられるよう、バックカントリーでの正しい水の摂取方法について学んでください。

使用者には、自分自身の安全および周りの人々に対する安全の責任があります。判断は、適切に行ってください。

ガーディアングラビティは、海水や鉱山の廃石池からの水、大規模農場近くなど化学物質で汚染された水などの浄水には決して使用しないでください。ガーディアングラビティはこのような水源の水を飲用水に変えることはできません。また化学物質、放射性物質、0.02 μ未満の微粒子を除去することはできません。二次汚染を防ぐため、ホースや汚染の可能性のある部品を、浄水後の水に接触させないでください。

本取扱説明書に書かれている指示・警告をすべて読み、十分理解した上で、本製品をご使用ください。警告および指示に従わない場合、消化器疾患を起こす恐れがあります。



## B. ガーディアングラビティ取扱説明書

C. ガーディアングラビティは先進的な中空糸膜の技術を使い、ウイルス、バクテリア、原生動物、微粒子を除去し、活性炭を使用して水中の化学物質や臭味を除去します。

### 浄水器の構成部品:

A. ハングDリング	G. 浄水前用ホースパーブ	M. ユニバーサルボトルアダプター、外側
B. クロージャーストラップ	H. 浄水カートリッジ	N. シャットオフクランプ
C. ハングストラップ	I. 浄水後用ホースパーブ	O. 浄水後用ホース (30 in./76 cm)
D. クロージャーバックル	J. 浄水前用ホース (40 in./102 cm)	P. クリーンサイドカバー、内側
E. プレフィルタースクリーン	K. Dirty Waterリザーバー	Q. クリーンサイドカバー、外側
F. 浄水前用ホースディスコネクト	L. ユニバーサルボトルアダプター、内側	R. パージバルブ

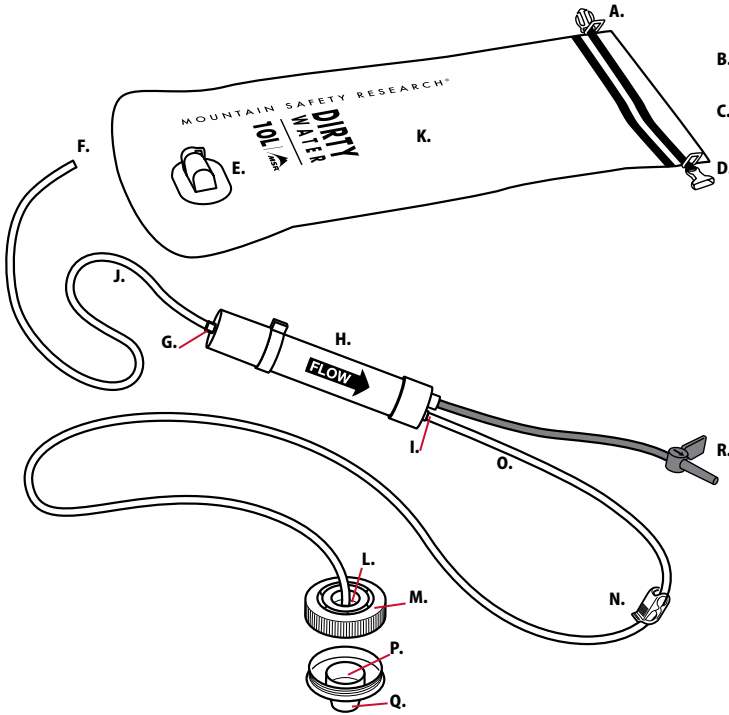
### 重要事項:

**警告** パージバルブは、濃縮された浄水前の汚水を排出します。汚水の水滴がろ過された水に混じらないよう気をつけてください。二次汚染が起きると有害な微生物に晒され、消化器中毒の危険が高くなる恐れがあります。

- カートリッジに空気が溜まると流量が低下する恐れがあります。パージバルブを開いて空気を抜き、汚水の色が水源の色と同じになり、気泡がなくなるまで汚水を流してください。水を流す際にカートリッジを水平に保つか、カートリッジを軽くたたくと空気を抜きやすくなります。
- 絶対に保管前に浄水カートリッジを分解、乾燥させないでください。カートリッジ内の繊維が乾燥すると、水が通らなくなるため、カートリッジ内部は常に水分を含んだ状態にしてください。
- 長期旅行の場合は、交換用のカートリッジを携行してください。

### 機能を良好に保つコツ:

- できる限りきれいで透明な水を使用してください。沈殿物のある水や濁った水をろ過すると、カートリッジが早く目詰まりします。
- 透明な水が手に入らない場合、粒子をDirty Waterリザーバーの底に沈殿させてからろ過するようにしてください。クイックディスコネクト接続メス金具の背後にあるプレフィルタースクリーンを、必要に応じてきれいにします。
- 流量を最大にするには、浄水後用容器が地面から離れない程度に、Dirty Waterリザーバーをできるだけ高い位置に吊ります。

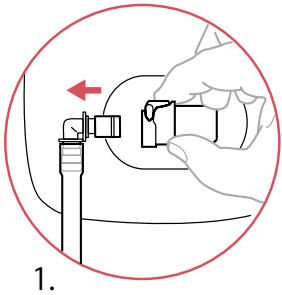


MOUNTAIN SAFETY RESEARCH®

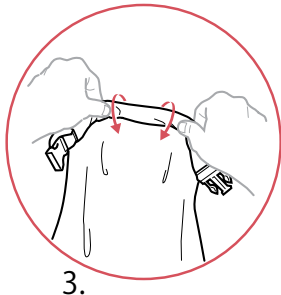
本取扱説明書は、後日参照できるよう大切に保管してください。

© 2021 Cascade Designs, Inc., USA | 4000 First Avenue South | Seattle, WA 98134 U.S.A. | 1-800-531-9531 | 1-206-505-9500  
Cascade Designs, Ltd., Ireland | (+353) 21-4621400 [www.msrgear.com](http://www.msrgear.com) | [info@cascahedesigns.com](mailto:info@cascahedesigns.com)

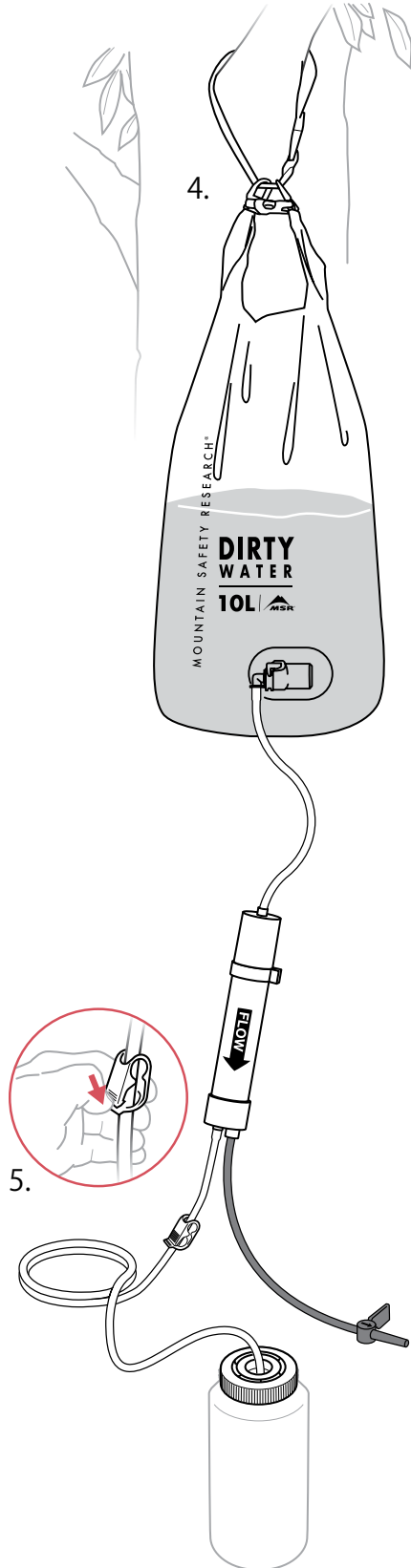
# 1.



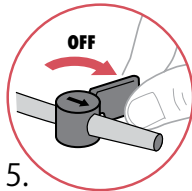
1.



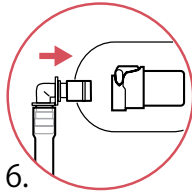
3.



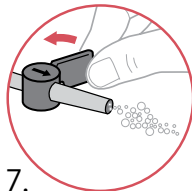
4.



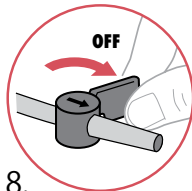
5.



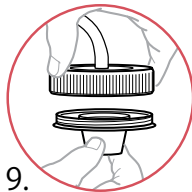
6.



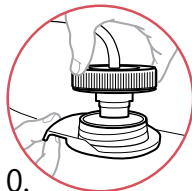
7.



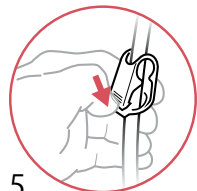
8.



9.



10.



5.

## 1. 水の浄化

初めて使用する前には、浄水カートリッジから残留している炭粉やグリセリンを洗い流してください。これらは無害ですが、味は良くありません。以下のステップ 1.1~1.8に従って初期洗浄を行ってください。空気と汚水を排出します(ステップ 1.7)。続いて、約 0.5 リットルの水をろ過して捨ててから、飲料容器に浄水後の水を入れます。

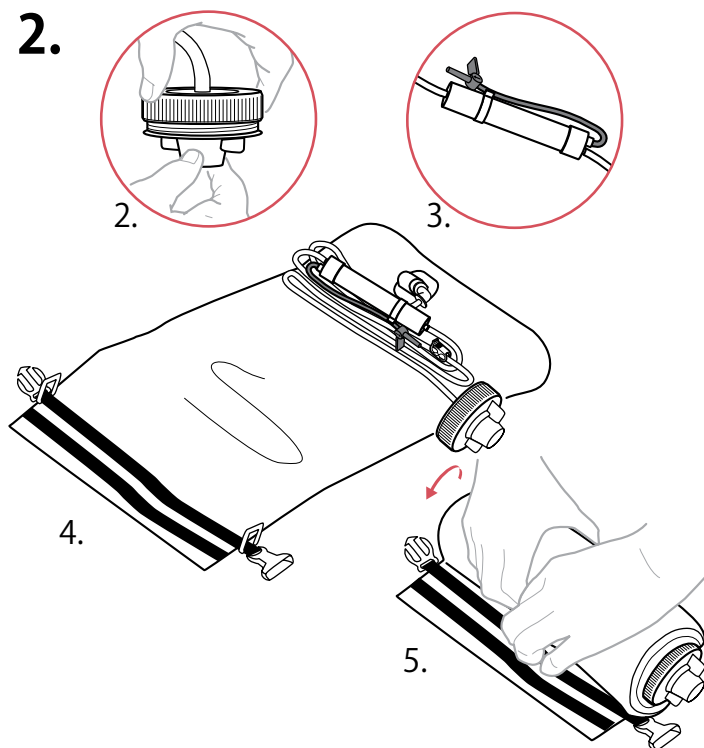
1. Dirty Waterリザーバーから浄水前用ホースを取り外します。
2. Dirty Waterリザーバーに浄水前の水を入れます。
3. Dirty Waterリザーバーのクロージャーストラップを 4 回以上折りたたみ密封します。クロージャーストラップのバックルを留めます。
4. Dirty WaterリザーバーをハンGSTラップで吊ります。(注意: 浄水後用容器が地面から離れない程度に、Dirty Waterリザーバーをできるだけ高い位置に吊るします。)
5. シャットオフクランプとパージバルブが両方とも閉じていることを確認します。
6. Dirty Waterリザーバーに浄水前用ホースを取り付けます。
7. パージバルブを開いて水を流し、汚水の色が水源の色と同じになり、気泡がなくなるまで、泥や空気を流してください。(注意: カートリッジを水平に保ち、軽くたたくと空気を抜きやすくなります。)
8. パージバルブを閉じます。
9. クリーンサイドカバーを外しシャットオフクランプを開いて、水が流れるようにします。ボトルアダプターを浄水後の水ですすぎます。(注意: カートリッジを初めて使用する場合、約0.5リットルの水をろ過して捨ててください。)
10. 浄水後用容器をユニバーサルボトルアダプターに取り付け、浄水後用ホースがねじれておらず、水が容器に流れることを確認します。(注意: カートリッジに気泡があると、流量に影響します。)

**⚠ 警告** パージバルブは、濃縮された浄水前の汚水を排出します。汚水の水滴がろ過された水に混じらないよう気をつけてください。二次汚染が起きると有害な微生物に晒され、消化器中毒の危険が高くなる恐れがあります。

限定保証の詳細については、[www.e-mot.co.jp/repair/warranty.asp](http://www.e-mot.co.jp/repair/warranty.asp) をご覧ください。

トラブルシューティングについては、  
<https://www.e-mot.co.jp/repair/faq.asp> をご覧ください。

## 2.



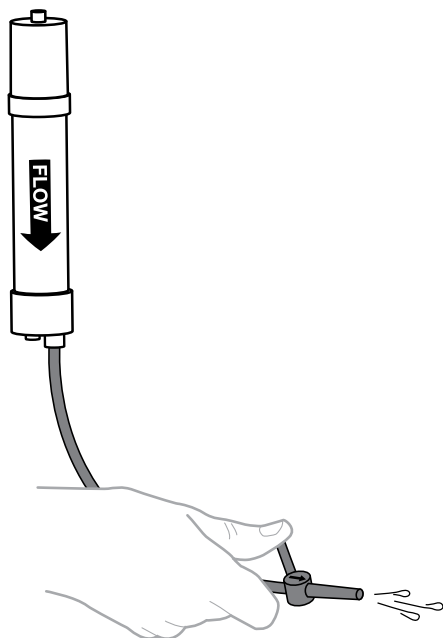
## 2. ガーディアングラビティの収納および保管

1. ガーディアングラビティ内の水を完全に空にします。
2. クリーンサイドカバーをユニバーサルボトルアダプターに再度取り付けます。
3. パージバルブを折り畳み、浄水カートリッジにクリップで留めます。
4. すべての部品を自然乾燥させるかタオルでできるだけ乾かし、ホースを浄水カートリッジと束ねます。**(注意:保管中は、二次汚染が起こらないよう、すべての部品(リザーバー、ホース、カートリッジ、アダプター)を接続したままにしてください。)**
5. Dirty Waterリザーバーを浄水カートリッジとホースに巻きつけ、収納ケースに入れます。長期間の保管前には、必ずカートリッジを殺菌してください(連続15日間以上、ステップ5を参照)。

**⚠ 警告** 絶対に保管前に浄水カートリッジを分解、乾燥させないでください。カートリッジ内の繊維が乾燥すると水が通らなくなるため、カートリッジ内部は常に水分を含んだ状態にしてください。

**⚠ 警告** 浄水カートリッジは、決して氷点下(0°C以下)で保管しないでください。カートリッジが凍結すると、流量が大幅に低下し、内部の繊維が損傷する恐れがあります。

## 3.



## 3. 浄水カートリッジのフラッシング(洗浄)

パージバルブを開く度に、泥や溜まった汚染物質が排出されます。フラッシング(洗浄)をすることでフィルターは洗浄され、適切な流量とフィルターの寿命が確保されます。基本的には10リットルごとに、濁った水または褐色の水を浄水する場合は3リットルごとにフラッシングしてください。

1. できるだけきれいな水を使用し、シャットオフクランプを閉じ、パージバルブを開いて排出される水が透明になり、気泡がなくなるまで、浄水カートリッジをフラッシングしてください。

**⚠ 警告** パージバルブは、濃縮された浄水前の汚水を排出します。汚水の水滴がろ過された水に混ざらないよう気をつけてください。二次汚染が起きると有害な微生物に晒され、消化器中毒の危険が高くなる恐れがあります。

## 4. 浄水器の殺菌

流量を低下させる細菌やカビの繁殖を防ぐため、長期間の保存(連続 15 日間以上)の前には、必ず浄水器を殺菌してください。

1. Dirty Waterリザーバーから浄水前用ホースを取り外します。
2. リザーバーを水道水ですすぎ、プレフィルターからゴミを除去します。
3. シャットオフクランプとパージバルブがともに閉じていることを確認します。
4. Dirty Waterリザーバーに 3 リットル以上の温めた水道水を入れ、浄水前用ホースを取り付けます。
5. パージバルブとシャットオフクランプを両方とも開きます。温水をろ過します。パージバルブとシャットオフクランプを閉じます。
6. 2リットルのきれいな水でリザーバーを満たし、5 mL (小さじ約 1 杯) の家庭用漂白剤 (塩素濃度 5.25%~8% で色素や香料を使用していないもの) を加えます。
7. ボトルアダプターを流しに置きます。リザーバーを流しより上に持ちか吊るします。
8. パージバルブとシャットオフクランプを開き、家庭用漂白剤を混ぜた溶液の 1/2 をろ過し、流しに流します。
9. バルブとクランプを閉じます。(浄水カートリッジは、溶液で満たされます。)
10. **30 分間待ちます。**
11. 残りの溶液 1/2 をカートリッジに通しますが、Dirty Waterリザーバーが空になる直前に**止めます** (溶液をカートリッジに残留させるため)。
12. **さらに 30 分間待ちます。**
13. すべての溶液を排出します。
14. すべてのホースを取り付けたまま、各パーツを自然乾燥させるか、タオルで完全に乾かします。(注意: カートリッジ内に残留している溶液が内部の有害な微生物や菌膜の増殖を防ぎます。)
15. ガーディアングラビティを収納ケースに収納して保管します。

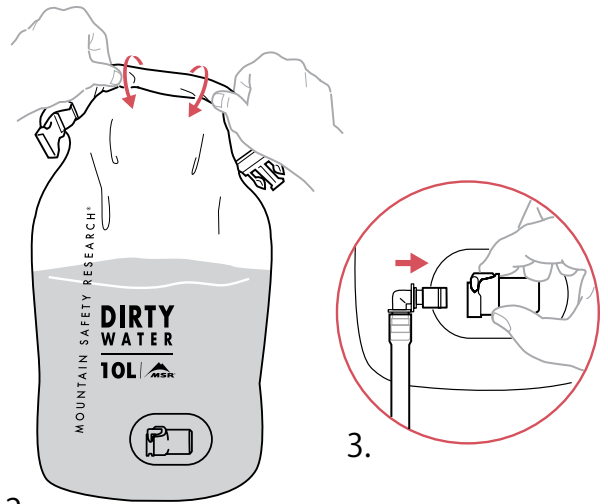
長期間の保管後は、使用前に 2~3 リットルの水を浄水器に通してすすいでください。

**⚠ 警告** 絶対に推奨量を超える家庭用漂白剤を使わないでください。繊維を損傷する恐れがあります。

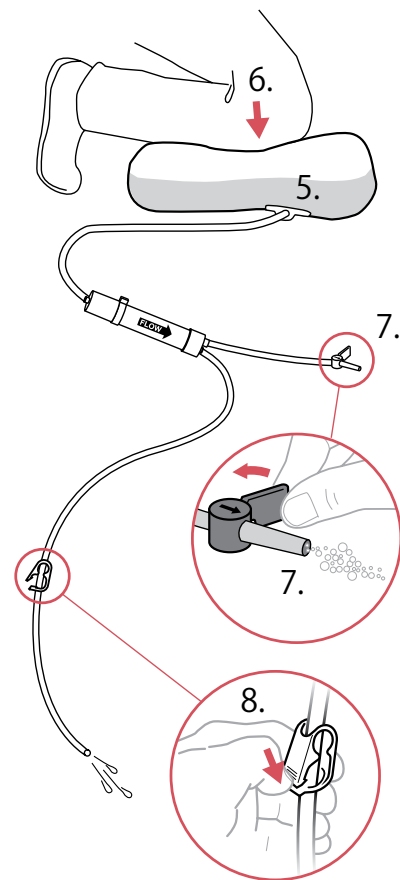
**⚠ 警告** 絶対に保管前に浄水カートリッジを分解、乾燥させないでください。カートリッジ内の繊維が乾燥すると、水が通らなくなるため、カートリッジ内部は常に水分を含んだ状態にしてください。

**⚠ 警告** カビ類や細菌の繁殖を防ぐために、長期保管の前に必ず浄水器を殺菌してください。部品の殺菌に食洗機や電子レンジを使用すると高温により損傷あるいは溶けてしまう可能性があるため、絶対に使用しないでください。

## 5.

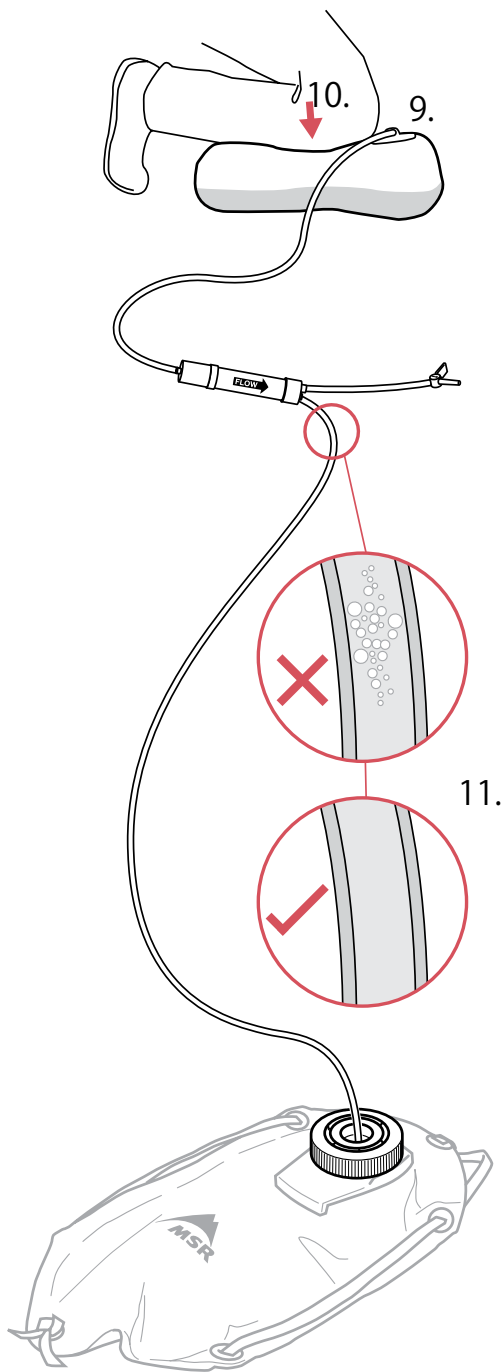


1~2



## 5. 安全機能チェック

フィルターの材質は、落下により損傷、あるいは使用後に凍結することで損傷することがあります。損傷の可能性がある場合は、安全機能チェックを実施してください。



1. Dirty Waterリザーバーから浄水前用ホースを取り外し、3~4リットルの水をDirty Waterリザーバーに入れます。
2. Dirty Waterリザーバーの残りのスペースにはできるだけ多くの空気を入れます。クロージャーストラップを4回以上丸めて密封します。
3. Dirty Waterリザーバーに浄水前用ホースを取り付けます。
4. 浄水前用ホースと浄水後用ホースの全体が見えるよう、手前の地面に置きます。
5. Dirty Waterリザーバーを裏返し、ホース口が下向きになるようにします。
6. 丸めたクロージャーストラップを持ち、Dirty Waterリザーバーに膝をつき、浄水前用ホースから水を押し出します。空気が入らないように注意してください。
7. パージバルブを開き、浄水カートリッジからすべての気泡を出し切ります。**その後、バルブを閉じます。**
8. 引き続きリザーバーに膝をつきながら、シャットオフランプを開きます。浄水後用ホースを水で満たします。
9. Dirty Waterリザーバーを裏返し、ホース口が上向きになるようにします。
10. リザーバーに膝をつき、空気だけを浄水前用ホースから浄水カートリッジに強制的に通すようにします。  
注意: カートリッジ内の完全に濡れた中空糸膜に空気を通すことを目的としています。繊維が損傷していると空気が逃げ、浄水後用ホースに継続的に気泡が生じます。
11. 空気を強制的に通したときに浄水後用ホースに継続的に気泡が生じる場合、本テストを2回繰り返し、正確を期すことを推奨します。毎回気泡が生じる場合、浄水器は安全ではありません。使用を止め、浄水カートリッジを交換してください。

安全機能チェックの手順は [www.msrgear.com/guardian-gravity-purifier](http://www.msrgear.com/guardian-gravity-purifier) で、他の言語でも参照できます。